



# 6月の予定

〈公〉中央公民館 〈農〉農業者トレーニングセンター  
〈町〉町民会館 〈さ〉さんさん館 〈健〉健診ホール  
〈温〉温水プール 〈ふ〉ふれあい公園PG場

- 1日(土) 津別峠展望施設開館  
歯の衛生週間(～10日まで)
- 2日(日) 【休日当番病院】美幌 みやざわクリニック ☎75-0800  
危険物安全週間(～10日まで)
- 3日(月) 特設なんでも相談所 〈役場 中ホール〉
- 9日(日) 【休日当番病院】美幌 こばやし内科クリニック ☎73-3356
- 15日(土) ウッドロスマルシェ 午前9時～正午  
リサイクル回収 午前9時～11時〈スポーツ交流館〉
- 16日(日) 【休日当番病院】美幌町立国保病院 ☎73-4111
- 17日(月) 乳幼児相談会 〈健〉
- 21日(金) よろず相談 午後1時～3時 〈役場 中ホール〉
- 23日(日) 【休日当番病院】美幌 玉川医院 ☎75-2780  
消防演習 午後1時～ 〈津中グラウンド〉
- 24日(月) 家族介護者のための茶話会 午後1時30分～ 〈健〉
- 30日(日) 【休日当番病院】女満別中央病院 ☎74-2181

メール配信システム「ささえねっと @つべつ」への登録をお願いします！

町の防災情報など大切な情報をお届けしています。

メールの登録方法	LINEの登録方法
①QRコードから登録	QRコードから登録
②t-tsubetsu@sg-p.jp (メールアドレス)を入力し、空メールを送り登録	※詳細は、町ホームページをご覧ください。

人の動き 令和6年4月末現在 ( ) は前月比

人口 4,038人(0) 世帯 2,148戸(+6)  
男性 1,988人(+7) 女性 2,050人(-7)  
高齢化率 45.89% 1,853人

## 【210】ゼロカーボンシティ宣言

国はゼロカーボンを実現するため、再生可能エネルギーの導入や省エネを推進し、2050年までに脱炭素社会の実現を目指している。これを受け今年3月議会で「津別町ゼロカーボンシティ宣言」を行った。

津別町は平成19年に「バイオマスタウン構想」を策定して以降、翌20年に「地球温暖化対策実行計画」、25年に「森林バイオマス熱電利用構想」、26年に「環境基本計画」、令和2年に「第6次総合計画」を策定し、愛林のまちの特性を生かした木質バイオマスを中核に据え、脱炭素の取り組みを進めている。

では、津別町の二酸化炭素の排出量と吸収量はどれくらいなのか。環境省の自治体排出カルテによると、令和2年の津別町の排出量は9万トンで、吸収量は同じく環境省の地方公共団体実行計画策定・実施マニュアルの算定手法により計算すると、29万2千ト

ンとなる。つまり津別町の森林は排出量に対し、3倍近くの吸収力を持っている。

こうしたことから、今更「ゼロカーボンシティ宣言」をするのではなく、むしろ「マイナスカーボンシティ宣言」をすべきでは、との意見もあつたほどだ。このように津別町は地球温暖化対策に大きく貢献している。

津別町で特筆すべきは、地元企業・丸玉木材㈱の取り組みである。平成19年に工場から出る木くずを燃料として、熱と電気を供給するバイオマスエネルギーセンターを建設した。これにより原油換算で年2万4千キロリットルの化石燃料を削減している。

行政も、地元民間企業で構成するペレット協同組合からペレットを購入し、多くの公共施設で活用して化石燃料の削減に努めている。昨年は木質バイオマスセンターを建設し、チップの供給を開始。新たに建設した公共施設の他、農業にも活用している。取り組みは今後の取り組みに続く。

### たてよこプラス



町長 佐藤 多一

バイオマスエネルギーセンターを建設した。これにより原油換算で年2万4千キロリットルの化石燃料を削減している。